

「一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進」などの部分と、本部会・専門部会で話題になった視点との関連性

※計画全般、計画理念等に関すること

※下表について 実線枠…本部会委員の意見 破線枠…専門部会委員の意見

	障害者の権利擁護。合理的配慮を計画で取り上げることが必要	どの分野でも関係機関との連携充実が必要	5年後までにこれをやるべき、これだけはやるべき…という議論を
	他の部局・課と調整して包括的に財源を確保した推進/取組が必要	「管理職の理解」というキーワードを散りばめる	オール県庁による計画企画・実行体制づくりが必要
	親計画(Grantデザイン)を受けた次期推進基本計画は5W1Hが明確な計画であることが必要	数値ではなく質を評価する計画、質を求める計画であるべき	現状分析を相当しっかり。その上での次の見通しだろう。
	「持続可能な千葉県特支教育のシステムづくり」というコンセプトを提案	現場に意欲と勇気を与える計画に。現状否定から始まる計画の提案でよいのか	管理職は試行錯誤/模索し悩んでいる。コラムを掲載して実用性も持たせてはどうか
	計画は発表するだけでなく、伝達・啓発等を目的とした説明会等の取組も併せて必要		

5 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

1 早期からの教育相談と支援体制の充実	幼保段階の関係者の専門性向上も不可欠。手厚い記載を。		
(1) 早期からの教育相談支援体制の一層の充実			
(2) 個別の支援計画作成・活用と適切な就学に向けた相談・支援の充実			
2 連続性のある多様な学びの場の整備と支援の充実	必要な時に、必要な場所で教育が受けられる学びの場の整備が必要	重度重複障害のある児童生徒への教育・支援の一層の推進が必要	地域の学校で学べる環境が必要
(1) 地域で共に学び育つ教育の推進			
(2) 合理的配慮の充実と基礎的環境整備の推進	高等学校では障害に配慮した履修の在り方をどうするかの問題解決が不可欠	特支 Co は専任の配置を可能にしなければ小中高の特別支援教育は進まない	共生社会の実現に向け、小・中・高等の児童生徒が障害者と関わる経験を重ねることが必要
(3) 学校を支える外部人材や地域の教育資源の活用と充実			
(4) 高等学校における特別支援教育の充実	次期計画 5 年間で特別支援学校がどうなるのか、どう動くのか、明確な描きを示すことが必要	小中高の特支 Co は忙しくて十分機能できていない	学力向上、道徳の推進に目が向く現場に、特別支援教育推進の意識をどう啓発するか
(5) ICTを活用した教育の推進			
(6) 様々な困難を抱える子どもへの支援の充実	インクルーシブ教育システム構築のためには、ユニバーサルデザインを踏まえた授業が実践できなければ。実践できる学校、教員づくりを。	幼→小、中→高など節目の移行支援を手厚くできる計画に 通級/特学など、学びの場の違いに応じて、何を学ばせるのか(支援するのか)がトピックや実践例を出すべき(他県はあるが千葉県にはない)	生徒指導/進路指導と特別支援区教育のつながり/関連性を示すと推進が進むのではないかと
3 特別支援学校の整備と機能の充実	次期計画 5 年間で特別支援学校がどうなるのか、どう動くのか、明確な描きを示すことが必要		
(1) 特別支援学校の施設・環境の計画的な整備			
(2) 特別支援学校が有する多様な機能の整備と充実			
4 卒業後の豊かな生活に向けた支援と支援体制の充実	卒業=就労ではなく、在学中に多様な価値観を学ぶことが大切	卒業に向け、親・家族へのコーディネートが必要	障害者を指導・就労させるための研修ではなく、共に働く仲間として関わる意識の涵養が教員研修に必要必要
(1) キャリア教育、職業教育の充実			
(2) 障害のある児童生徒の社会自立、社会参加を支援するネットワークの構築と充実	障害者と地域をどう結びつけるか。受け皿づくりと飛び込むことの相互の取組が必要	卒業時の本人・保護者がもつ不安解消への取組が望まれる	
	2020 オリパラへの対応の盛り込み、その他芸術・文化の取組も記述したい		
5 特別支援教育に関する教員の専門性向上	多様な学びの場を実現できるだけの教員の専門性向上が必要	小中高教員の特支校教員免許取得促進の取組を設定し計画に盛り込めないか	インクルーシブ教育システム構築のためには、ユニバーサルデザインを踏まえた授業が実践できなければ。実践できる学校、教員づくりを。
(1) 特別支援学校免許状取得の一層の推進			
(2) 特別支援教育に関する研修の充実	全ての学校で特別支援教育を行うためには全ての教員が障害のある子と関わる経験が必要	義務教育に携わる教員・行政職に対する特支教育理解啓発が必要	担当者を育てる研修だけでなく、担当になる前から研修できる、研修をさせる取組の充実が必要
	困った子ではなく「その子が困っている」と考えられる教員の意識改革の研修が必要	市町村教委担当者の特別支援教育理解は不可欠	
	通級指導の展開には専門性のある人材育成・確保が必要	研修後、どれだけ専門性/力量が高まったかの評価メトリックが必要	
	Social Worker を含む外部人材確保が必要		